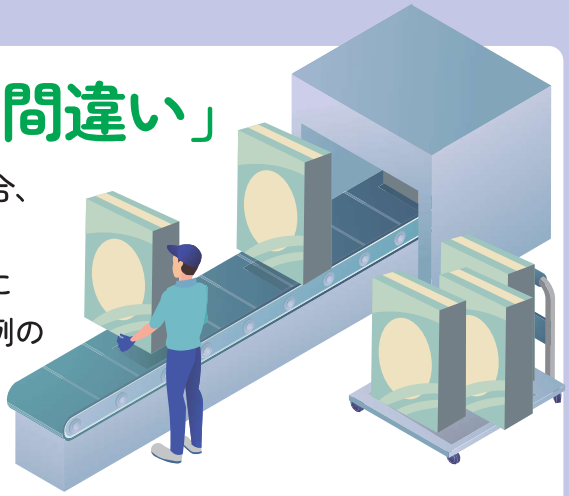
Fukujuu news
Fuku Fuku 通信
vol. 32
2026 Nov.

表示知識 Lesson

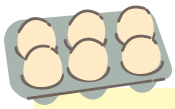
知って防ごう！「食品表示の間違い」



食品のパッケージやラベルに誤表示があった場合、回収・交換になってしまうことがあります。
消費者庁ホームページの「リコール情報サイト」に掲載されている回収や交換となってしまった事例の多くは「表示漏れ」や「誤入力」が原因とのこと。
実際に誤りがあった理由や具体例をふまえ、印刷事故を防ぎましょう。

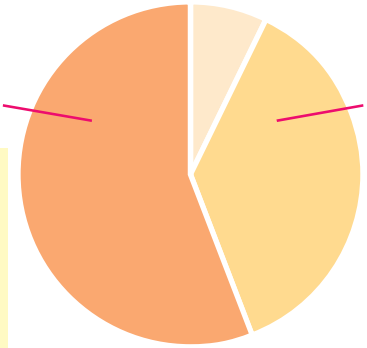
食品表示法に基づく自主回収の届出状況［食品表示法に関する届出件数 1,745件］

回収理由



アレルゲン 56%

POINT アレルギー表示の間違いや欠落があると、そのアレルギーを有する方が喫食した場合、健康被害が生じる可能性があり、注意が必要です。



期限表示 37%



POINT 設定された消費期限（または賞味期限）より長い期限で日付を表示することは、喫食した消費者に健康危害を与える可能性があり注意が必要です。

ラベル作成時、テキストがオーバーフローしてしまい欠落してしまったケースや、「原材料として使用した醤油に含まれる小麦・大豆のアレルギー表示が抜けていた」など、様々な理由で誤表示に。



年月日の入力間違いのほか、「消費期限」と記載するべきところを「賞味期限」と記載してしまい、製品回収となってしまったケースも。

発生原因

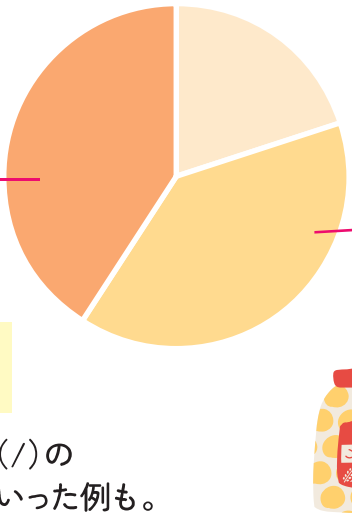


誤入力・入力漏れ 41%

はちみつが含まれる食品で、乳児ボツリヌス症に関する注意喚起の表示の欠落　など

POINT 「1歳未満のお子様に食べさせないでください」などの注意書きが必要です。

その他、原材料と食品添加物を区分するスラッシュ（/）の記載が漏れていたり、添加物の表記に誤字・脱字といった例も。





貼り間違い 39%

「別の商品のラベルを貼ってしまった」「誤った期限の賞味期限シールを貼ってしまった」　など



参考：消費者庁「食品表示法に基づく自主回収の届出状況」（令和7年4月1日～令和8年3月末日）／消費者庁リコール情報サイト（回収・無償修理等）